

富士山の世界遺産登録を

祝いポスター作製

ACTIVE KUMIAI

大月商店街組合協同組合

大月商店街協同組合（小俣孝理事長）は、富士山が「世界文化遺産」に登録されたのを記念して、同登録を祝うポスターを作製し、約70の加盟店で掲示。「祝 富士山世界文化遺産登録」の文字の下に、「富士の眺めが日本一美しい街『おおつき』とPRしている。

大月市では、富士山が美しく見える19の山々を秀麗富嶽十二景として選定し、写真コンテストなどを実施しており、商店街では、JR大月駅で乗降する大勢の登山客の誘客対策として、コンテスト写真の商店街への展示、登山客に疲れた足を癒やしてもらい、街中に引き込んで食事や買い物を楽しんでもらおうと足湯カフェの設置、商店街マップの作製配付などの策を講じてきた。

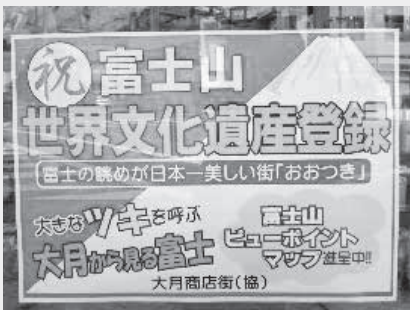
世界文化遺産登録記念第1弾として、6月29日には、「富士登山の安全」「大きなツキのある大月市のにぎわい」も折念して、大月市に協力し、餅つきイベントを実施し、100人につきたての餅を振る舞った。

記念イベントの第2弾としてポスターとマップを作製。マップには、大月区民公園内や国道20号大月バイパスの歩道など、JR大月駅から徒歩5〜10分で行け、富士山がきれいに見えるスポット6カ所を掲載し、来店客に配付している。



富士山ビューポイントマップ

同組合は、世界文化遺産登録を「スタート」に、富士山の文化や自然、美しい景観を末永く守り、後世に引き継ぐため、行政の取り組みに積極的に協力するとともに、富士山の登山客や富士山の撮影を目的とした客を商店街に回遊させることにより、大月市と商店街の活性化に繋げようとするさまざまな活性化策を講じていくという。



祝 富士山世界遺産登録ポスター